

入院のご案内

患者さまはもちろん、ご家族の方もお読みください



医療法人 済衆館

済衆館病院

当院へ入院されるみなさまへ

安心して入院生活を送っていただくため、
入院手続きや入院生活に関する必要事項、注意事項をお伝えします。
患者さまだけでなく、ご家族の方も一緒にお読みください。

1 入院手続き時にご用意いただくもの 病棟のスタッフステーションにご提出ください。

ご入院の方は、下記をご用意のうえ、提出書類を病棟のスタッフステーションにご提出いただき、所定の手続きを行ってください。また、書類には押印をお願いいたします。

入院手続き時の携行品

提出 書類

- 入院申込書
- 寝具類借用書
- 保険給付外料金表
- CSセット申込書(申込をされる方)

準備品

受付に入院時及び月1回ご提示ください。

- マイナ保険証(資格確認書)
- 介護保険証(お持ちの方)
- 各種医療証(お持ちの方※)
- 限度額適用認定証(マイナ保険証の方は不要)

※障がい者医療費受給者証、福祉医療費受給者証などお持ちのものは全てご提示ください。

3 何でもご相談いただける窓口があります 入院中、退院後の心配事はありませんか？

当院では、患者さまのさまざまな心配事をご相談いただく窓口として、患者支援センターを設けています。ここでは、個人情報保護を遵守したうえで、医療と福祉の観点から、入院中の相談はもとより、退院に向けた各種福祉制度の紹介、在宅・福祉サービスの利用調整など、患者さま一人ひとりに対応したご相談をお受けしています。ぜひお気軽にご相談ください。

2

入院生活を送るうえで必要なもの

なるべく最小限にしてください。

ご入院にあたり、身の回り品をご準備ください。くれぐれも最小限のものに留めるようお願いいたします。急なご入院の場合には、CSセットをご利用いただくか本館1階の売店にてご購入いただくことが可能です。

なお、貴重品は、お持ちにならないでください。万が一、紛失された場合でも当院では責任を負いかねますので、お荷物の保管には充分にご注意をお願いします。また、現在服用中のお薬についても必ずご持参ください。また、お持ち物にはお名前をご記入していただくことで紛失防止となります。

入院手続き時の携行品

入院の際に必要な衣類、タオル類、日用品を日額定額制でご利用いただけるサービスを導入しています。CSセット(ケアサポートセット)のご案内をご覧ください(別途お申込みが必要となります)。

洗面・洗髪用具

- 歯ブラシ
- 電気シェーバー
- 石鹸
- 義歯入れ 等
- シャンプー

食器等

- 箸・スプーン
- 湯のみ(割れにくいもの)
- らくのみ 等

日用品

- 寝巻、下着(※1)
- 室内履き(※2)
- バスタオル・タオル
- イヤホン
- ティッシュペーパー (多床室の方)

お薬

- 現在服用中のお薬(※3)
- お持ちの方はお薬手帳も

※1 おむつが必要な方は、CSセット(おむつセット)をお申し込みいただくか売店にてご購入ください。

※2 安全のためスリッパは避けてください。

※3 原則、当院入院中に他院での診療や投薬を受けることはできません。また、家族の方が薬を受け取りに行くこともできませんので、入院期間中に必要なお薬はあらかじめお持ちください。なお、入院中に他院の薬が無くなった場合には、当院にご相談ください。

相談をご希望の際は、入院病棟のスタッフステーションにお声がけください

- 制度(介護保険・障がい者など)は、どうすれば利用できるの?
- ケアマネジャーってどんな人?
- 退院してからの自宅での生活が不安。
- 家族の介護負担が大きくなってきたけど、どうすればいい?
- 入院生活での心配ごとについて尋ねてみたい。
- 支援してもらえる家族がおらず、この先について相談したい。
- 医療費の支払いが心配だ。

お問い合わせ先

医療法人 済衆館 済衆館病院
患者支援センター

0568-21-0811 (病院代表)

4

入院生活上ご留意いただきたいこと

より安心・快適にお過ごしいただくため、さまざまなルールを設けています。

01 食事について

入院中の食事は、年齢・性別・身長・活動量・肥満度・病状に応じて、一人ひとり調整しています。配膳時間は朝食7:30、昼食12:00、夕食18:00です。ただし、病棟によって時間が多少ずれることがあります。なお、ベッドではなく食堂のテーブルでも飲食が可能です。



02 寝具について

布団・毛布・枕・敷布類は、病室に備えてあります。紛失・焼失・破損の場合は、別途弁償金をお支払いいただきます。

03 携帯電話の使用について

個室やラウンジでは携帯電話での通話が可能です。ただし、消灯後の通話や大声での通話をご遠慮ください。また、多床室ではメールの使用は可能ですが、他の患者さまに充分配慮していただき、マナーモードに設定したうえで、利用時間もご考慮をお願いいたします。詳しくは各病棟のスタッフステーションまでお尋ねください。

04 テレビ・冷蔵庫・洗濯機について

病室内のテレビ・冷蔵庫は定額制でご利用いただけます。洗濯機につきましては、現金でのご利用となります。なお、定額制の詳細につきましては別紙にてご案内し、ご承諾をいただく必要がございます。使用方法については、床頭台にある説明書をご参照ください。

※多床室でテレビを視聴される際は、イヤホンをお使いください。



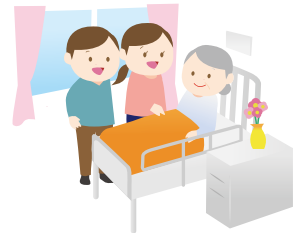
05 面会について

面会時間 月～土 13:00～20:00
日・祝 10:00～20:00

(感染症の流行等により変更させていただく場合があります)

面会時間は、月～土13:00～20:00、日・祝10:00～20:00です。東館、西館の玄関は17:00(東館・土曜日は14:00)に閉まりますので、本館1階の玄関よりお帰りください。また、本館の玄関は20:00に閉まりますのでご注意ください。お時間をお守りいただいたうえで、他の患者さまのご迷惑とならないようにご配慮をお願いします(感染症の流行等により面会時間等を変更させていただく場合がございます。当院のホームページ等でご確認ください)。

また、患者さまの治療の妨げになるような食品などの差し入れ、生花などの植物の持ち込み、病室内での大声での会話はご遠慮ください。なお、病院敷地内での喫煙、時間外の面会は固くお断りいたします。小学生以下のお子さまのご同伴はなるべく避けていただき、やむを得ない場合は、職員にご相談ください。



06 駐車場のご利用について

入院期間中の駐車場のご利用は、緊急入院などの一時的な駐車を除き、ご遠慮ください。なお、1泊入院の場合に限り、第2駐車場(7 院内のご案内に掲載の地図参照)をご利用いただくことができます。



07 リストバンドの装着について

患者さまの誤認を防止するため、入院患者さまにリストバンドの着用をお願いしております。また、お名前を名乗っていただくこともありますので、ご協力をお願いいたします。

5 入院中お守りいただきたいこと

最良の医療をご提供するため、当院から患者さま・ご家族へのお願いです。

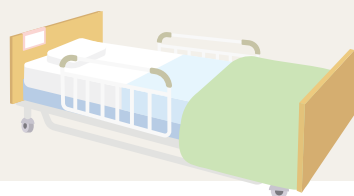
当院では、患者さまが一日でも早く本来のご自分の体調を回復し、元気になっていただくために、スタッフ一同、患者さまと一丸となって治療に取り組んでいます。患者さまの権利については、充分なご説明のもと、ご自分の意思によって適切・最良の医療を自己決定できる権利として、院内掲示や病院案内の冊子でもご紹介しています。この権利を、他の患者さまにも平等に保障し、治療効果を高めるため、患者さま及びご家族に必ず守っていただきたい事項があります。ご協力くださいますようお願いいたします。

他の患者さま・職員への迷惑行為はおやめください。

- 暴力・暴言・心理的に大きな負担を与える行為、言動は行わないでください。
- ハラスメント行為、暴力行為などは行わないでください。
- 病院敷地内での器物破損行為は行わないでください。
- 患者さま同士での金銭の貸し借りをしないでください。
- 入院中は、医師・看護師等病院スタッフの指示に必ず従ってください。従っていただけない場合、退院していただくことがございます。(例: 飲酒、ケンカ、賭け事、無断外泊、無断外出など)
- 当院内は写真・動画の撮影は必ず確認をお願いいたします。特に病院スタッフ及び他の患者さま等が写り込む撮影は厳禁とさせていただきます。

安全・快適な入院生活のためスタッフの指示に従ってください。

- 各種制限のある食事・医療を受けておられる患者さまにおいては、主治医の許可する範囲内で自己管理を行ってください。
- 入院中の外出・外泊は、主治医の許可を得て、スタッフステーションに所定の届け出をしてください。
- 入浴をご希望される方は、必ず主治医の指示に従ってください。
- 火災、その他の災害が発生した場合は、病院の指示に従ってください。



お互いが心地よく過ごせるようマナーを守ってください。

- 知り得た他人の個人情報や外部に漏らさないでください。
- 敷地内でタバコを吸わないでください。
- 患者さま同士の食べ物の交換はおやめください。
- 消灯は21:00です。お守りください。

入院期間の所持品・持ち込みは、くれぐれも必要最小限に。

- 電気製品の持ち込み・使用はできるだけご遠慮ください。
- ペットの持ち込みは禁止です。
- ベッドに備えられた敷布などは病院で交換・洗濯を行います。各自の衣類の洗濯は、各病棟の洗濯室をご利用ください。乾燥も所定の場所にてお願いします。
- CSセットの衣類等は洗濯不要で交換いたします。

最良の医療を提供するため、当院からのお願いです。

- 退院日については原則、病院の指示に従ってください。
- ご入院されている患者さまに、よりよい治療を受けていただくため、当院から病棟・病室をお替わりいただくようお願いすることがあります。その際、入院基本料が変更になる場合もありますので、ご協力をお願いいたします。
- 患者さまから職員へのお心遣いは固くご遠慮申し上げます。
- そのほか、病院が必要と認めた事項について遵守をお願いします。

6 入院料について

01▶ お支払いについて

入院費用のご請求は月末締めです。請求書は翌月の10日以降に本館1階の総合受付にてお受取できます。1週間以内に本館1階、または西館1階の自動精算機にてお支払いください。退院時の会計については、退院当日(休診日にあたる場合はその前日)にお支払いをお願いいたします。

マイナ保険証(資格確認書)については、入院時及び1か月に1度、必ずご提示ください。自費診療、自賠責診療をされる方は、あらかじめ2万円の保証金をお預かりしています。

平日 9:00~16:00
土曜 9:00~13:00
(日祝日はご利用できません)
※クレジットカードでもお支払いいただけます。

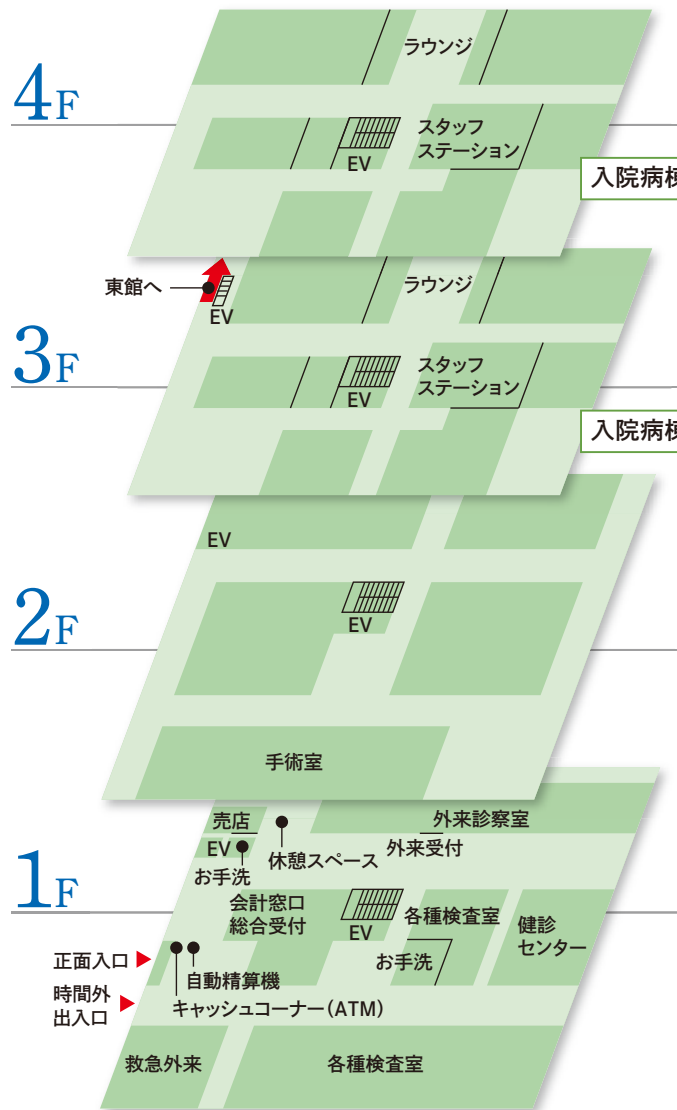
7 院内のご案内

総合受付 会計窓口	キャッシュコーナー
本館 1階	本館 1階
売店	自動精算機
本館 1階 平日 9:00~18:00 土曜 9:00~16:00 日祝 11:00~16:00 ※年末年始、ゴールデンウィークは、別途ご確認ください。 ※売店の裏側には自販機があります。	本館 1階/西館 1階 平日 9:00~16:00 土曜 9:00~13:00 (日祝日はご利用できません) ※クレジットカードでもお支払いいただけます。
相談窓口	公衆電話
本館 1階、西館 1階	本館 1・3・4階 西館 1階/東館 2・3階
ランドリー	時間外出入口
本館 3階・4階 東館 2階・3階 西館 2階・3階 ※夜間のご利用はお控えください。	時間外用インターホンで お呼び出してください。 (20:00~翌朝7:00)

駐車場案内



本館



02▶ 限度額適用について

窓口にて「オンライン資格確認」に同意していただきますと、1か月に病院に支払う医療費が自己負担額の上限(自己負担限度額)までとなります。同意をされず、窓口で上限を超えた医療費をお支払いいただいた場合は、ご加入の保険者へ高額療養費の申請をしていただくと月単位で払い戻しされます。

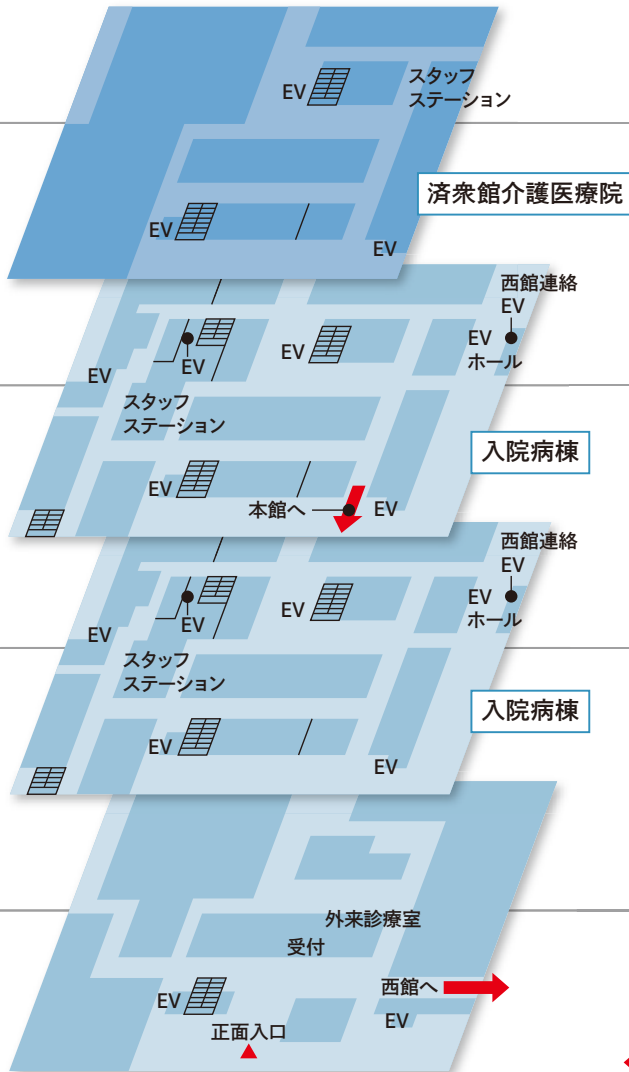
なお、保険適用外の診療・差額ベッド代等や、入院中の食事負担額等は対象となりません。

退院当日の 手続き

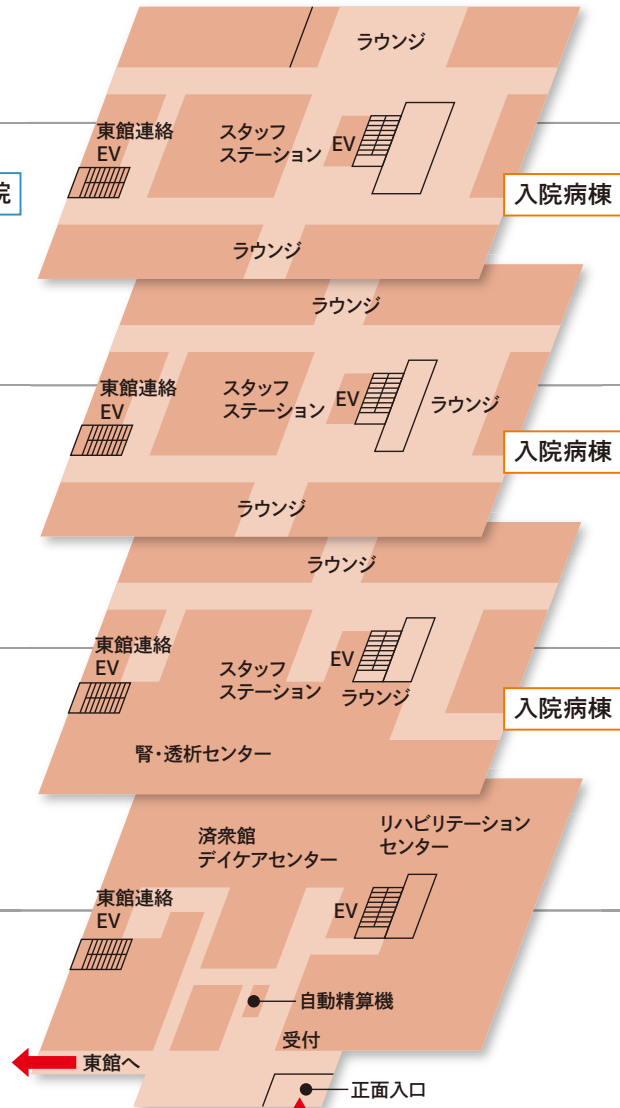
原則として正午までに退室していただきますようお願いいたします。

本館1階または西館1階の自動精算機で精算をお済ませのうえ、各病棟のスタッフステーションにて退院の説明をお聞きください。

東館



西館



済衆館病院の理念

私たちは 健康と福祉増進のため 愛と誠意をもって努めます

私たちは 医療技術と知識向上のため 常に自己研鑽に努めます

私たちは 病める人々と苦しみを分かち合い 愛の杖となるよう努めます

地域への貢献 ～基本方針～

地域と共に歩んで1世紀。

済衆館病院はこれからも地域のみなさまに安心して頂ける医療を追求してまいります。

1. 高品質の医療

さまざまな疾患に対し、先進の診断・治療技術により、それぞれの患者さまに最もふさわしい医療を提供します。

2. あらゆる病期に対応

疾病予防、救急からリハビリに至るまで、医療を必要とする全ての段階に対し適切に対応します。

3. 医療の安全性と恒常性の維持

院内体制を強化し徹底した事故防止を図るとともに、災害時を含め地域のみなさまに安心して頂けるように医療の恒常性(永続性)の維持に努めます。

4. 適切な連携

大学・他病院・診療所・介護等、さまざまな分野と幅広く連携し、当院の枠を超えた地域全体のトータルヘルスケアに貢献できるよう努めます。

患者さまの権利

済衆館病院は患者さまを中心とした医療を心がけ、
次のような患者さまの権利を尊重します。

1. 最善の医療を受ける権利について

患者さまは、適切で最良の医療を平等に受ける権利があります。

2. 自己による決定の権利について

患者さまは、十分な説明を受け、治療法を自らの意思で選択し、決定する権利があります。

3. 情報を知る権利について

患者さまは、自らの治療についての説明や情報開示を求める権利があります。

4. プライバシー保護の権利について

患者さまは、個人情報を守られる権利があります。

5. 人権を尊重される権利について

患者さまは、人間としての誇りと尊厳を保たれる権利があります。

